

優れた塗膜性能で  
防水層を確実に保護します。



「ルーフガード遮熱」「ルーフガード」は、防水材専用開発したエマルジョン塗料です。付着性、耐久性に優れ、施工も容易。新設、メンテナンスの防水仕上げに最適です。従来製品「ノンリークコート」の特長を生かしつつ、付着性と伸縮性を向上させました。

## 特長

### 1 環境に配慮した塗料です。

水性塗料で臭気も少なく、ホルムアルデヒドの放散等級F☆☆☆☆を取得しています。また、厚生労働省「シックハウス対象物質に関する指針」にリストアップされている化学物質や「鉛」「クロム」を含有していません。

### 2 抜群の付着性を維持し防水層を長期にわたり保護します。

各種シート防水層への付着力が強く直接塗装できます。塗膜に伸縮性があるため、クラック追従性に優れています。また、耐候性、耐摩耗性、耐水性に優れているため、防水層を長期間にわたり保護します。

### 3 作業性に優れ、シックな艶消しの仕上がり得られます。

1液性で低粘度のため、取り扱いが容易であり、作業性に優れています。また、シックな艶消しの落ち着いた仕上がり得られます。

### 4 「ルーフガード遮熱」は高い遮熱性能を発揮します。

「ルーフガード遮熱」は優れた遮熱性能で防水層を保護します。高い日射反射率で、ベランダや屋上の表面温度の上昇を軽減します。

## 用途

- 加硫ゴムシート防水材の化粧・保護
- アスファルトシート防水材の化粧・保護
- 砂付きルーフィング材の化粧・保護
- アスファルトシングル材の化粧・保護

## 標準色

● 色見本は紙に塗装しておりますので、実際の施工とは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

### ルーフガード遮熱

#### 【フラットタイプ】



▲シルバーグレー



▲グレー



▲マイルドグリーン

#### 【骨材入りタイプ(防滑タイプ)】



▲シルバーグレー



▲グレー



▲マイルドグリーン

### ルーフガード

#### 【フラットタイプ】



▲グリーン



▲ブラウン



▲オーカー

#### 【骨材入りタイプ(防滑タイプ)】



▲グリーン



▲ブラウン



▲オーカー



▲シルバーグレー



▲グレー



▲シルバー



▲シルバーグレー



▲グレー

● 本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは、著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。

# 製品情報

	製品名	タイプ	色相	荷姿	塗装方法	使用量・希釈量	希釈剤	可使時間 (23℃)
下塗り	NTゴムシートバインダー	—	クリアー	6kgセット (主剤:4kg,硬化剤:2kg)	●刷毛 ●ローラー	無希釈	—	1時間以内
上塗り	ルーフガード遮熱 (遮熱タイプ)	フラット	標準色3色 (特注色不可)	15kg	●刷毛 ●スプレー ●ローラー※1	0~1.5kg	水	—
		骨材入り	標準色3色 (特注色不可)	18kg	●刷毛 ●リシンガン ●ローラー※2 ●ゴムゴテ	0~2.7kg	水	—
	ルーフガード (一般タイプ)	フラット	標準色6色 (特注色可能)	15kg	●刷毛 ●スプレー ●ローラー※1	0~1.5kg	水	—
		骨材入り	標準色5色 (特注色可能)	18kg	●刷毛 ●リシンガン ●ローラー※2 ●ゴムゴテ	0~2.7kg	水	—

※1:ルーフガード遮熱・ルーフガード(フラットタイプ)の推奨ローラーは「Wonder(15mm)」「ウレタンくん(11mm)」「大塚刷毛製造(特製)」をおすすめします。推奨刷毛は「銀助」「タフシリーズ」(大塚刷毛製造(特製))をおすすめします。

※2:ルーフガード遮熱・ルーフガード(骨材入りタイプ)の推奨ローラーは、刷毛は「WAKABA(13mm)」「Micro Granda(13mm)」「大塚刷毛製造(特製)」をおすすめします。推奨刷毛は「銀助」「プラグレハード」(大塚刷毛製造(特製))をおすすめします。

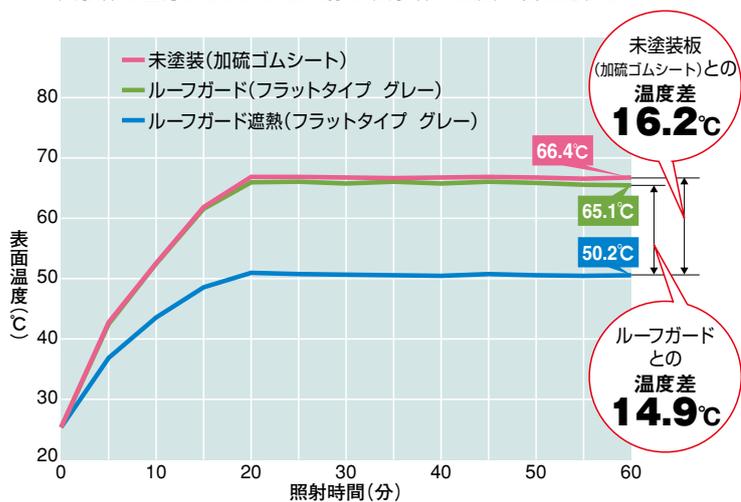
## 標準塗装仕様書

工程	商品名 (タイプ)	ルーフガード遮熱 (遮熱タイプ)			ルーフガード (一般タイプ)		
		加硫ゴムシート		砂付きルーフィング	加硫ゴムシート		砂付きルーフィング
		フラット	骨材入り	フラット	フラット	骨材入り	フラット
素地調整		<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面のゴミ、ホコリ、泥などは15MPa程度の高圧水洗浄やデッキブラシ併用の水洗いなどで除去、清掃し、表面を充分乾燥させてください。</li> <li>●油脂が付着している場合はシートを傷めない適切な方法で除去してください。</li> <li>●被塗面にチョーキングなどの付着阻害要素がないことを確認した後、以下の工程へ進んでください。</li> </ul>					
上塗り (1回目)	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	0.15~0.2	0.2~0.3	0.2~0.4	0.15~0.3(1~2回)	0.3~0.7(1~2回)	0.3~0.4(1~2回)
	1缶あたりの塗り面積(kg/m <sup>2</sup> )	75~100	60~90	37.5~75	50~100	25.7~60	37.5~50
	施工間隔(23℃)	2~72時間	2~72時間	2~72時間	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上
上塗り (2回目)	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	0.15~0.2	0.2~0.3	0.2~0.4			
	1缶あたりの塗り面積(kg/m <sup>2</sup> )	75~100	60~90	37.5~75			
	施工間隔(23℃)	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上			

※2回目を塗装する際、1回目と2回目の塗装間隔は2~72時間としてください。

## 遮熱性能試験 (自社試験方法)

「加硫ゴムシート」に、標準塗装仕様に従って、「ルーフガード遮熱」(色:グレー、フラットタイプ)と「ルーフガード」(色:グレー、フラットタイプ)を塗布しました。「ルーフガード遮熱」に「ルーフガード」と「未塗装(加硫ゴムシート)」を平行に並べて、試験体の上方からランプを照射し、試験体の表面温度を比較しました。



## ●日射反射率結果

品名	色相	日射反射率(%)※3
ルーフガード遮熱	シルバーグレー	68.0
ルーフガード遮熱	グレー	61.6
ルーフガード遮熱	マイルドグリーン	68.4
ルーフガード	シルバーグレー	33.5
ルーフガード	グレー	17.9
ルーフガード	シルバー	59.2
ルーフガード	グリーン	53.6
ルーフガード	ブラウン	55.5
ルーフガード	オーカー	42.1
加硫ゴムシート		2.7
砂付きルーフィング		17.4

※3:日射反射率は「JIS K 5602」塗膜の日射反射率の求め方に準拠し、測定した近赤外域の値です。測定結果は自社試験によるデータです。

# 試験成績

試験項目	試験結果		試験規格
	ルーフガード遮熱	ルーフガード	
付着性	100/100	100/100	10×10マス クロスカット法
耐水性	異常なし	異常なし	水道水浸漬 30日間
耐水性7日後の付着性	100/100	100/100	10×10マス クロスカット法
耐屈曲性	23℃	異常なし	25mm φ 屈曲テスト
	-5℃	異常なし	25mm φ 屈曲テスト
耐温水性	異常なし	異常なし	60℃温水 30日間浸漬
耐熱性	異常なし	異常なし	80℃ 30日間
耐候性	異常なし	異常なし	キセノンウエザーメーター1000時間

## 注意事項

### ■施工上の注意事項

- 下地の凹凸や勾配によって水の溜まりやすい箇所は剥離が生じやすくなります。そのような部分は下塗りとして「NTゴムシートバインダー」を塗布してください。
- ポリマーセメント系防水材の上に「ルーフガード遮熱」「ルーフガード」を塗装しないでください。付着不良や剥離、エフロによる汚染が起きることがあります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。屋外施工では翌日までに降雨、降雪が予想される場合の施工は避けてください。
- 材料の保管は、直射日光を避け、室温5℃以下、30℃以上にならない室内で保管してください。低温では凍結の恐れがあるため、ご注意ください。
- 貯蔵の際は密栓し、開栓後はできるだけ早くにご使用ください。
- 指定希釈剤以外の混入は絶対に避けてください。
- 塗装面が濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。濡れたままで塗装しますとフクレやハガシの原因となります。
- 塗膜が十分に乾燥していない時に降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面に白化や割れ、シミなどが発生する可能性がありますので施工しないでください。
- 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより変わります。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより幅を生じることがあります。
- 塗料は必ず規定配合比で調合し、十分に攪拌後施工してください。他の塗料との混合は絶対に

行なわないでください。

- 塗料を小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量して塗料の調合を行なってください。
- 塗料は調合前に電動攪拌機などで十分に攪拌してください。2液反応硬化タイプの材料、主剤と硬化剤、希釈剤は秤を使用し指定の割合で調合して、電動攪拌機などで混合攪拌してください。
- 一度調合した塗料は必ず可使用時間内に使い切るようにしてください。可使用時間を過ぎた塗料の使用は行わないでください。作業性、付着力の低下や仕上がりなどが悪くなります。なお、可使用時間は、材料温度と雰囲気温度に依存します。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- 規定の塗布量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の塗布量を守って塗装してください。
- 施工表面の温度が60℃以上の場合乾燥が早く、乾きムラの原因となりますのでご注意ください。
- **加流ゴム系のカラータイプシートの場合は密着力が劣るため、使用を避けてください。また、ごく一部の改質アスファルトシートでは「花咲き現象(マッドカール)」が発生することがありますので、施工に際しましては事前のチェック、または当社の営業所までお問い合わせください。**
- 下地は不陸調整して水勾配を取り、水溜まりがないように事前に処理を行なってください。剥離などの不具合の要因となります。

### ■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスでふき取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げる際には、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吹き込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なってください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

**【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】**

## 日本特殊塗料株式会社

### ■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323  
 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739  
 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124  
 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560  
 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256  
 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroyu.co.jp/>

### ■代理店